

漢字文化振興協会

令和7年度 湯島聖堂漢文検定

寺子屋編(論語・漢詩)・藩校編(論語・漢詩文)

受験要項

オンライン検定が始まりました！

寺子屋編個人受験は、オンライン検定に移行しました。

漢文検定の意義

平安時代に漢籍を書き下して日本語として読むようになると、大和言葉と融合し新しい日本語が作られ、『源氏物語』などが著されました。江戸時代、藩校で訓読して『論語』や儒学の經典を教授すると、人間性を培い、言語活動を拡充させました。漢文は、日本文化の基礎であるとともに日本語を正しく理解し、活用していくためにも重要です。日本語を見直す契機として「漢文検定(論語・漢詩文)」を受験して頂ければと思っています。

なお、昨年度より寺子屋編(個人受験)はオンラインで受験できるようになりました。簡単な手続きで受験でき、合否もその場で判明します。日頃の学習の成果を試すチャンスです。多くの方の受験をお待ちしています。

一般社団法人 漢字文化振興協会 会長 徳川 斉正
(水戸徳川家 15 代当主)



個人検定

検定種類	寺子屋編全級	検 定 日	オンラインで任意の日に受験
検定種類	藩校編全級	検定会場	湯島聖堂
検 定 日	上期／令和7年 9月23日(火・祝) 下期／令和8年 2月11日(水・祝)		

団体検定

検定種類	寺子屋編全級・藩校編全級	検定会場	団体ごとに設定
受付期間	上期／令和7年 7月 1日(火) ～ 8月31日(日) 下期／令和7年11月15日(土) ～ 令和8年 1月15日(木)		
検定期間	上期／令和7年 9月 1日(月) ～ 9月30日(火) 下期／令和8年 1月25日(日) ～ 2月28日(土)		

検定試験概要

寺子屋編 検定

(『寺子屋編テキスト』使用)

級	出題範囲	形態	合格基準	検定料
論語初級	テキストの初級 10 篇	オンラインで 受験	6割以上の正解で合格	1,000 円 テキスト代込み
漢詩初級	テキストの初級 5 首			
論語中級	テキストの初級 10 篇・中級 10 篇		6割以上の正解で合格	1,500 円 テキスト代込み
漢詩中級	テキストの初級 5 首・中級 6 首			
論語上級	テキストの中級 10 篇・上級 20 篇		7割以上の正解で合格	2,000 円 テキスト代込み
漢詩上級	テキストの中級 6 首・上級 9 首			

※論語入門・漢詩入門・論語修了・漢詩修了の各級は廃止しました。

*試験内容は「試験問題例」をご参照ください。

*朗読のみでの受験を希望する団体はお問い合わせください。「団体受験用募集要項」をお送りします。

合格証



石川忠久先生 朗読のCD発売中!!

論語漢詩初級・中級……………500円(税込)

朗読の独習に
最適です



漢文(論語・漢詩文)検定テキスト

大好評 寺子屋編テキスト



A4判 並製 86P 横綴じカラー表紙 定価 700 円

大人にも子どもにもわかり易い
現代語訳大好評のテキスト

落枝編テキスト



B5判 並製 152P カラー表紙 定価 1,200 円

漢詩文テキスト

故事成語から文学思想まで中学高校
生や生配の方にも使い易く
白学白習に
適したテキスト 大好評



B5判 並製 150P カラー表紙 定価 1,400 円

論語テキスト
深く論議を争いたい人
生きたる知恵を争いたい人

藩校編 論語 検定

(「藩校編 論語テキスト」使用)

級	受験資格	出題範囲	試験内容(原則)	合格基準	検定時間	検定料
藩校論語初級	どなたでも受験できます	論語テキストの初級部分	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は原則として調点つき)	7割以上	60分	1,500円
藩校論語中級	どなたでも受験できます	論語テキストの中級部分	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は白文もあり)	7割以上	60分	2,000円
藩校論語上級	どなたでも受験できます	論語テキストの上級部分	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は白文もあり)	7割以上	60分	2,500円
藩校論語修了	どなたでも受験できます	論語テキストの全部	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は白文を主とす)	8割以上	60分	3,000円

藩校編 漢詩文 検定

(「藩校編 漢詩文テキスト」使用)

級	受験資格	出題範囲	試験内容(原則)	合格基準	検定時間	検定料
藩校漢詩文初級	どなたでも受験できます	藩校テキストの初級部分	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は原則として調点つき)	7割以上	60分	1,500円
藩校漢詩文中級	どなたでも受験できます	藩校テキストの中級部分	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は白文もあり)	7割以上	60分	2,000円
藩校漢詩文上級	どなたでも受験できます	藩校テキストの上級部分	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は白文もあり)	7割以上	60分	2,500円
藩校漢詩文修了	どなたでも受験できます	藩校テキストの全部	調点のつけ方・書き下し文・現代語訳・内容理解など(本文は白文を主とす)	8割以上	60分	3,000円



元禄3年創建(1690年) 湯島聖堂

「湯島聖堂」について

湯島聖堂は1690年に徳川五代将軍によって創建された孔子廟で、1797年には幕府直轄の昌平坂学問所(昌平黌)が開設されました。

明治以降は、大学や図書館などとして活用され近代教育発祥の地となりました。

「漢文検定」申し込みから合格証受領までの流れ

1 寺子屋編(論語・漢詩)・藩校編(論語・漢詩文)の受験級を決める

寺子屋編

2 HPで会員登録をする

寺子屋編はHP上での受験となります。
受験にはHPへの会員登録が必要です(無料)。

3 級を選んで申し込みをする

受験する級を選んでカートに入れ、検定料をお支払いください。(お支払い方法はクレジットカードのみとなっております)
お申し込みが完了すると、テキスト(PDFファイル)がダウンロードできます。

4 受 験

申し込み後、いつでも受験することができます。HPへログインして受験してください。

5 合格証

受験終了後、画面上で合否をご確認いただけます。合格者には合格証が届きます。

藩 校 編

2 テキストを購入する

漢文検定事務局へメールで申し込む
mail : kanshin_wordpress@kanshin.gr.jp

3 受験の申し込みをする

- ①漢文検定事務局から「申込書」を受け取り、申し込む
- ②実施要項・振込用紙など、必要書類が届く
- ③検定料の振り込みをする
(一週間以内に料金を振り込んでください)

4 受験会場・検定日

- ・令和7年9月23日(火・祝)
 - ・令和8年2月11日(水・祝)
- 湯島聖堂で実施(開始時間は後日決定)

5 合格証

30日以内に受験者に合否連絡、合格者には合格証が届きます。

※検定料の返金や代理受験はできませんのでご注意ください。

※団体受験もごさいます。個別にお問い合わせください。

●お問い合わせ・申し込み先

一般社団法人 漢字文化振興協会

〒113-0034 東京都文京区湯島1-6-3 湯島一丁目ビル3F (株)メディカ・ライン内

TEL 03-5577-2880 FAX 03-5577-2890

URL : <https://www.kanshin.gr.jp/>

mail : kanshin_wordpress@kanshin.gr.jp



B5判 並製
150P カラー表紙
定価 1,400円

深く論語を学びたい人
生きる智慧を

学びたい人
への一冊

藩校編
論語テキスト!!

テキスト内容見本

章の主題から異説の紹介まで役立つ補説

全文書き下し文付き

二段(初級)

1 子曰く、学而時習之、不亦説乎。有朋自遠方来、不亦楽乎。人不知、而不愠、不亦君子乎。

【書き下し文】
子曰く、学んで時習に之を習ふ、亦悦ばしからずや。朋有り、遠方より来たり、亦悦ばしからずや。人不知れ、而不愠む、亦悦ばしからずや。

【現代語訳】
学んで時習に之を習ふ、亦悦ばしからずや。朋有り、遠方より来たり、亦悦ばしからずや。人不知れ、而不愠む、亦悦ばしからずや。

2 曾子曰、吾日三省吾身、為人謀而不忠乎。与朋友交而不信乎。伝、不習乎。

【書き下し文】
曾子曰く、吾日三省吾身を、人の爲に謀りて忠を盡さざるや。朋友と交はりて信を盡さざるや。伝、不習するや。

【現代語訳】
曾子曰く、吾日三省吾身を、人の爲に謀りて忠を盡さざるや。朋友と交はりて信を盡さざるや。伝、不習するや。

二段(初級)

1 子曰く、学而時習之、不亦説乎。有朋自遠方来、不亦楽乎。人不知、而不愠、不亦君子乎。

【書き下し文】
子曰く、学んで時習に之を習ふ、亦悦ばしからずや。朋有り、遠方より来たり、亦悦ばしからずや。人不知れ、而不愠む、亦悦ばしからずや。

【現代語訳】
学んで時習に之を習ふ、亦悦ばしからずや。朋有り、遠方より来たり、亦悦ばしからずや。人不知れ、而不愠む、亦悦ばしからずや。

2 曾子曰、吾日三省吾身、為人謀而不忠乎。与朋友交而不信乎。伝、不習乎。

【書き下し文】
曾子曰く、吾日三省吾身を、人の爲に謀りて忠を盡さざるや。朋友と交はりて信を盡さざるや。伝、不習するや。

【現代語訳】
曾子曰く、吾日三省吾身を、人の爲に謀りて忠を盡さざるや。朋友と交はりて信を盡さざるや。伝、不習するや。

句法まで説明してある丁寧な語釈

潘校編 初級問題

一、次の漢文を読み、後の問いに答えなさい。

孔子過泰山側。有婦人哭於墓者而哀。夫子式而聽之。使子路問之曰、「子之哭也、何似重有憂者。」而曰、「然。昔者吾舅死於虎。吾夫又死焉。今吾子又死焉。」夫子曰、「何為不去也。」曰、「無苛政。」夫子曰、「小子識之。苛政猛於虎也。」

問一 修辭部①をわかりやすく現代語訳しなさい。

問二 修辭部②を書き下し文にしなさい。

問三 修辭部③の意味としてもつとも適当なものを、次の中から適当な記号で答えなさい。

ア、何故もお墓参りをしているようにみえる。

イ、何故も不満なことに戸惑うようにみえる。

ウ、何故も悲しい目にあつたようにみえる。

エ、何故も不幸を乗り越えたようにみえる。

潘校編 中級問題

二、次の漢詩を読み、後の問いに答えなさい。(修辭部は送り仮名を省いてある)

遊山西村

莫笑農家臘酒渾。豐年留客足鷄豚。

重復疑無路。晴明又一村。

簫鼓追隨春社近。衣冠簡朴古風存。

從今若許閑乘月。拄杖無時夜叩門。

問一 この詩の韻字を順にすべて書きなさい。

問二 修辭部①を現代語訳しなさい。

問三 ①②に入る最も適当な漢字を次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、山 イ、天 ウ、柳 エ、氣 オ、地 カ、花 キ、水

問四 修辭部③ほどのようなことを言おうとしているのか、最も適当なものを次の中から適当な記号で答えなさい。

ア、もう少しすれば、これから時々足向くま村に寄らせてもらいますということ。

イ、もう遠いので、杖をついて夜に村を訪れるのは無理になりましたということ。

ウ、町で村の様子を想像しながら月を見ている方が私の性に合っていますということ。

エ、春祭りや秋祭りの時には、訪れるのを楽しみにしていますということ。

潘校編 上級問題

四、次の漢文を読み、後の問いに答えなさい。

人之性。惡其善者。偽也。今人之性。生而有。好利焉。順是。故爭奪生。而亡焉。生而有。疾惡焉。順是。故殘賊生。而忠信亡焉。生而有。耳目之欲。有好声色焉。順是。故淫亂生。而文亡焉。然則。從人之性。順人之情。必出於爭奪。合於犯文亂理。而歸於暴。故必將有。師法之化。札義之道。然後出於辟讓。合於文理。而歸於治。用此觀之。然則。人之性。惡明矣。其善者。偽也。

問一 二重修辭部a・b・cの意味を書きなさい。

問二 文中の「I」・「II」に入る語を、本文中より見つけ、書きなさい。

問三 修辭部①を現代語訳しなさい。

問四 修辭部②について、次の問いに答えなさい。

(2) ①「偽」の意味を書きなさい。

右の文中で「偽」に相当するものとして述べられているものは何か、適する箇所を抜き出して答えなさい。

(返り点、送り仮名は不要)

潘校編 修了問題

三、次の漢文を読んで、後の問いに答えなさい。

① 近塞上之人。有善術者。馬無故亡而入胡。人皆弔之。其父曰、「此何遽不為福乎。」居數月。其馬將胡駿馬而歸。人皆賀之。其父曰、「此何遽不能為禍乎。」家富良馬。其子好騎。墮而折其髀。人皆弔之。其父曰、「此何遽不為福乎。」居一年。胡人大入塞。丁壯者控弦而戰。近塞之人死者十九。此獨以墮之故。父子相保。故福之為禍。禍之為福。化不可極。深不可測也。

問一 修辭部①に調点(返り点・送り仮名)をつけなさい。

問二 修辭部②を書き下し文にしなさい。

問三 修辭部③、このようになった理由を父と子それぞれについて説明しなさい。

問四 修辭部④を現代語訳しなさい。

潘校編 論語初級

子^①之^②武城^③聞^④弦歌^⑤之^⑥声^⑦。夫子莞爾而笑^⑧曰^⑨：「割^⑩雞^⑪焉^⑫用^⑬牛^⑭刀^⑮。」子游^⑯對^⑰曰^⑱：「昔者偃也聞^⑲諸^⑳夫子^㉑曰^㉒：『君子學^㉓道^㉔則^㉕愛^㉖人^㉗，小人學^㉘道^㉙則^㉚易^㉛使^㉜也。』」子曰^㉝：「二三子^㉞、偃之言^㉟是也。前言^㊱戲^㊲之^㊳耳^㊴。」

問一 修辭部①の読みを平仮名で書きなさい。

問二 修辭部②の意味として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、口をゆがめて

イ、にっこりして

ウ、冷たい目をして

エ、大きな口をあけて

問三 修辭部③を現代語訳しなさい。

問四 修辭部④全文平仮名で書き下し文にしなさい。

潘校編 論語中級

季康子問^①政^②於^③孔子^④。曰^⑤：「如^⑥殺^⑦無道^⑧以^⑨就^⑩有道^⑪何^⑫如^⑬。」孔子對^⑭曰^⑮：「子為^⑯政^⑰焉^⑱用^⑲殺^⑳。」子欲^㉑善^㉒而^㉓民^㉔善^㉕矣^㉖。君子之德^㉗風^㉘，小人之德^㉙草^㉚，上^㉛之^㉜風^㉝必^㉞偃^㉟。」

問一 修辭部①の意味として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、政治が政治についてたずねた。

イ、政治と孔子の関係を問いつめた。

ウ、政治のことは孔子は知らなかった。

エ、孔子に政治についてたずねた。

問二 修辭部②を現代語訳しなさい。

問三 修辭部③を書き下し文にしなさい。

問四 修辭部④はどのようなことを言おうとしているのか、最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、上に立つ者が徳をもつて治めれば、民は自然に従うようになるということ。

イ、上に立つ者が徳をもつて治めれば、民は従わざるを得ないということ。

ウ、上に立つ者と民がお互い心を許しあうと、政治はうまくゆかないこと。

エ、上に立つ者の名望を、民はいつも尊重しなくてはならないということ。

潘校編 論語上級

子貢曰^①：「貧^②而無^③諂^④富而無^⑤驕^⑥何^⑦如^⑧。」子曰^⑨：「可^⑩也。未^⑪若^⑫貧^⑬而^⑭樂^⑮富而^⑯好^⑰礼^⑱者也。」子貢曰^㉑：「詩^㉒云^㉓：『如^㉔切^㉕如^㉖磋^㉗如^㉘琢^㉙如^㉚磨^㉛其^㉜斯^㉝之^㉞謂^㉟與^㊱。』」子曰^㊲：「賜也始^㊳可^㊴與^㊵言^㊶詩^㊷已^㊸矣^㊹。告^㊺諸^㊻往^㊼而^㊽知^㊾來^㊿者。」

問一 修辭部①を全文平仮名で書き下し文にしなさい。

問二 修辭部②に調点（返り点・送り仮名）をつけなさい。

問三 修辭部③はどういうことか、わかりやすく説明しなさい。

問四 修辭部④は、どのようにすることの比喩として使われるか、説明しなさい。

問五 修辭部⑤をわかりやすく現代語訳しなさい。

潘校編 論語下級

陳亢問^①於^②伯魚^③曰^④：「子亦有^⑤異^⑥聞^⑦乎^⑧。」對^⑨曰^⑩：「未^⑪也^⑫。」嘗^⑬獨立^⑭鯉^⑮趨^⑯而^⑰過^⑱庭^㉑。曰^㉒：「學^㉓詩^㉔乎^㉕。」對^㉖曰^㉗：「未^㉘也^㉙。」「不^㉚學^㉛詩^㉜無^㉝以^㉞言^㉟。」鯉退^㊱而^㊲學^㊳詩^㊴。他^㊵日^㊶又^㊷獨立^㊸鯉趨^㊹而^㊺過^㊻庭^㊼。曰^㊽：「學^㊾礼^㊿乎^㊱。」對^㊲曰^㊳：「未^㊴也^㊵。」「不^㊶學^㊷礼^㊸無^㊹以^㊺立^㊻。」鯉退^㊼而^㊽學^㊾礼^㊿。聞^㊱斯^㊲二^㊳者^㊴。陳亢退^㊵而^㊶喜^㊷曰^㊸：「問^㊹一^㊺得^㊻三^㊼。聞^㊽詩^㊾、聞^㊿礼^㊱、又^㊲聞^㊳君子之^㊴遠^㊵其^㊶子^㊷也^㊸。」

問一 修辭部①を現代語訳しなさい。

問二 修辭部②と③から「詩」と「礼」は儒家の中ではどのような役割を果たしていたと考えられるか、わかりやすく説明しなさい。

問三 この文章は、誰が、誰のどのような言葉に感じ入っているのか。「伯魚」とその対話の相手（陳亢）を明らかにしてわかりやすく説明しなさい。